

平成 30 年 3 月 30 日

「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」世界遺産推薦書原案提出

【市長コメント】

本日、文化庁へ佐渡金銀山の『世界遺産推薦書原案』を提出いたしました。

佐渡市は平成 16 年の市政施行以来、佐渡金銀山の世界文化遺産登録のための調査や広報事業を進め、さらに平成 18 年からは新潟県の協力をいただき、以後、今日まで県市が一体となって世界遺産登録を目指してまいりました。

この間、平成 22 年の佐渡単独による世界遺産暫定リスト記載、推薦要件である構成資産の国文化財指定作業など、様々な課題を乗り越えてきましたが、この四年間は、国内候補選定に向けた推薦書原案の作成に尽力してきました。特に、今回提出した推薦書については、昨年提示された国からの課題への対策をはじめ、本登録の際におけるイコモス審査にも対応できる内容になったものと考えています。

なお、これまでの間、市民の皆様あるいは佐渡ご出身の方々へは、佐渡金銀山の世界的価値をお知らせしてきました。現在、佐渡ではそれぞれの文化遺産を地域の誇りとして守る活動が定着しつつあり、さらには、新潟市内や首都圏においても世界遺産を応援する団体が組織されています。こうした数多くの皆様によるご支援は、推薦への大きな推進力になるものであり、心から感謝を申し上げます。

佐渡市が、島の活性化のために重要と考える世界遺産登録は、島の宝である佐渡金銀山を「世界の宝物」にする壮大なプロジェクトでもあります。私ども佐渡市は一丸となって平成 30 年度の国内候補選定を目指し、佐渡の未来のために何としても世界遺産登録を実現したいと思いますので、皆様の更なるご支援をお願いいたします。